

学修の成果に係る評価および卒業または修了の認定に当たっての基準
(卒業・修了必要単位数および取得可能学位)

1. 大学

(1) 卒業の要件

本学を卒業するためには、修業年限（休学期間を除いて４年以上在学すること）を満たし、各学科で定められている授業科目及び卒業必要単位数を次のとおり修得しなければならない。

<卒業必要単位数>

学部・学科・専攻			全学共通 科目	専門教育科目				合計
				学部共通	必修	選択必修	選択	
家政学部	被服学科		34	6	30	38	16	124
	食物学科	食物学専攻	28	4	62	—	30	124
		管理栄養士専攻	28	4	91	2	14	139
	児童学科	児童学専攻	28	4	100	6	4	142
		児童教育専攻	20	4	98	—	27	149
	ライフデザイン学科		34	6	36	1	47	124
文学部	日本文学科		37	—	46	22	20	125
	英語英文学科		37	—	52	8(8)※1	28	125
	コミュニケーション文化学科		37	—	28	32(8)※1	30	127
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	34	14	26	—	50	124
		環境情報学専攻	34	12	12	10 または 6	56 または 60	124
		情報デザイン専攻	34	16	40	—	34	124
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	32	12	30	(4)	52※2	126
		社会・臨床心理学専攻	38	12	38	—	38	126
	人間福祉学科		26	12	30	—	58	126
比較文化学部	比較文化学科		38	32	26	20	10	126
データサイエンス学部	データサイエンス学科		30	—	40	10	44	124

※1 選択必修科目の()の単位は文学部共通科目から必ず修得。

※2 選択必修の４単位を含む。

(2) 成績の評価

本学における成績の評価基準は、次のとおりとする。

判定	評点	評価	評価内容基準
合格	100～90	S	基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている
	89～80	A	基本的な目標を十分に達成している
	79～70	B	基本的な目標を達成している
	69～60	C	基本的な目標を最低限度達成している
	単位認定	N	学修等について単位を修得したものとする
不合格	59点以下	D	基本的な目標を達成していないので再履修が必要である
出席不足等（受験資格なし）		E	出席不足のため、受験資格なし
試験時欠席等		F	試験時欠席・レポート等未提出

学生が履修登録した科目について、学期末及び学年末に学修状況とその結果を考査した結果、合格した者に対して、授業担当教員がその科目の修了を認定し、所定の単位を与える。

(3) 卒業の認定・学位

- ・卒業要件を満たした学生には、教授会における審議を経て、卒業を認定する。
- ・卒業が認定された学生には、次のとおり学士の学位が授与される。

学部	学位の種類及び分野
家政学部	学士（家政学）
文学部	学士（文学）
社会情報学部	学士（社会情報学）
人間関係学部	学士（人間関係学）
比較文化学部	学士（比較文化学）

2. 短期大学部

(1) 卒業の要件

本学を卒業するためには、修業年限（休学期間を除いて2年以上在学すること）を満たし、学科・専攻ごとに定められている卒業要件を次のとおり修得しなければならない。

<卒業必要単位数>

学科・専攻		全学共通科目	専門科目			合計
			必修	選択必修	選択	
家政科	家政総合コース	18	6	32	8	64
	食と栄養コース	13	42	1	11	67

(2) 成績の評価

本学における成績の評価基準は、次のとおりとする。

判定	評点	評価	評価内容基準
合格	100～90	S	基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている
	89～80	A	基本的な目標を十分に達成している
	79～70	B	基本的な目標を達成している
	69～60	C	基本的な目標を最低限度達成している
	単位認定	N	学修等について単位を修得したものとする
不合格	59点以下	D	基本的な目標を達成していないので再履修が必要である
出席不足等（受験資格なし）		E	出席不足のため、受験資格なし
試験時欠席等		F	試験時欠席・レポート等未提出

学生が履修登録した科目について、学期末及び学年末に学修状況とその結果を考査した結果、合格した者に対して、授業担当教員がその科目の修了を認定し、所定の単位を与える。

(3) 卒業の認定・学位

- ・卒業要件を満たした学生には、教授会における審議を経て、卒業を認定する。
- ・卒業が認定された学生には、次のとおり短期大学士の学位が授与される。

学科	学位の種類及び分野
家政科	短期大学士（家政学）
国文科	短期大学士（文学）
英文科	短期大学士（文学）

3. 大学院

(1) 課程修了の要件

修士課程

- ・修士課程の修了には、2 年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することを要する。

博士後期課程

- ・博士後期課程の修了には、3 年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを要する。

< 修了所要単位数 >

研究科	専攻	課程	必修	選択	合計
人間文化研究科	人間生活科学専攻	修士課程	10	20	30
		博士後期課程	4	6	10
	言語文化学専攻	修士課程	8	22	30
		博士後期課程	4	8	12
	現代社会研究専攻	修士課程	12	18	30
	臨床心理学専攻	修士課程	22	8	30

(2) 成績の評価

- ・履修授業科目の単位の認定は、試験その他の本学が定める適切な方法により学修の成果を評価し、毎学期又は学年末に行う。
- ・各授業科目の成績評価は、S（100 点～90 点）、A（89 点～80 点）、B（79 点～70 点）、C（69 点～60 点）及びD（59 点以下）をもってこれを表し、S、A、B、Cを合格とし、Dを不合格とする。合格した授業科目に所定の単位を与える。

(3) 課程修了の認定

- ・課程修了は、研究科教授会における審議を経て認定する。
- ・課程修了の認定を得た者に対しては、次の区分に従い学位を授与する。

研究科	専攻	課程	学位の種類及び分野
人間文化研究科	人間生活科学専攻	修士課程	修士（生活科学）
	言語文化学専攻		修士（文学）
	現代社会研究専攻		修士（社会学）
	臨床心理学専攻		修士（心理学）

研究科	専攻	課程	学位の種類及び分野
人間文化研究科	人間生活科学専攻	博士後期課程	博士（生活科学）
	言語文化学専攻		博士（文学）

- ・博士後期課程においては、上記のほか、博士後期課程を経ない者で、博士論文を提出して、その審査に合格し、かつ、博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有すると認められた者にも博士の学位を授与

することができる。

(4) 学位論文に係る評価基準

・修士論文

審査にあたっては、以下の点を考慮し評価を行う。

1. 研究主題の学術的あるいは社会的な意義が明確に示されている。
2. 先行研究の調査や事実調査が適切になされ、当該研究の位置付けが明確に示されている。
3. 研究の方法が適切であり、具体的に示されている。
4. 問題設定から結論にいたる論旨が、実証的かつ論理的に展開されている。
5. 論文の形式や体裁が、学位論文として適切である。

・博士論文

審査にあたっては、以下の点を考慮し評価を行う。

1. 研究内容が独創性、新規性を有し、当該分野の研究に貢献できる。
2. 先行研究の調査や事実調査が適切になされ、当該研究の位置付けが明示されている。
3. 研究の方法が適切であり、具体的に記述されている。
4. 問題設定から結論にいたる論旨が、実証的かつ論理的に展開されている。
5. 論文の形式や体裁が、学位論文として適切である。

以 上

(本資料の情報は「履修ガイド 2025」「2025 大学院要覧」から抜粋)